



王喜の郷の輪 第7回
ケアハウス王喜の郷入居者 様

王喜の郷へ入所してはや5年を迎え、私にとって、とても早い日々でした。

コミュニティの中で色々あったり、交通事故や、病気で入院等、悲しい思いをすることがありました。家族と暮らしていた時と異なり、相談する家族が身近にいなかったので寂しかったです。

老いを受け入れると共に、月日の流れの早さに戸惑っています。でも、楽しいことも沢山ありました。

「年を重ねるのは幸せな事」
ある方のお言葉です。

王喜の郷に入所して、職員の方々にやさしくケアしていただき、入所している仲間の方との友情にとっても感謝しています。



<能登半島地震への介護職員応援派遣の体験記①>

令和1月1日に発生した能登半島地震の※1.5次避難所へ3月に介護職員応援派遣として行かせていただきました。

2日目の夜に吹雪に遭いました。3月とはいえ、今までの人生で一番底冷えのする地吹雪でした。

家が瓦礫となり、真冬の屋外で過ごす事はどれだけ恐ろしいか生命の危機を感じました。

避難所の方々は段ボールベッドで眠り、レトルト食品を食べ、プライバシーの無い中生活しておられました。

高齢の方、身体障害の方、認知症の方、全介助の必要な方等、利用されている方は王喜の郷と変わりありません。震災の中、その方々を守り抜いたご家族と地域の方々に頭の下がる思いでいっぱいです。

私ならば、自分の命さえ危うい中、他の人を守るか自信がありません。「自分も相手も滅びる時は共に滅びる」という強い覚悟、愛が無ければとてもできない事だと思えます。「五体満足で優秀で美しい人間だけが生き残れば良い」という風潮はいつの時代にもありますが、福祉は「人間らしく生きる」そんな風潮と真向から対立するという事。お金・名誉・人から見て格好良いか？といったことばかりに囚われていた自分に気付くと共に「本当に大切なものを見失っていませんか？」「人間らしく生きて人間らしく死ぬとはどういう事ですか？」と問いかけられたような経験でした。

※1.5次避難所とは1次避難所から2次避難所へ行くまでの間の避難所のことです。

1次避難所-被災後すぐ避難を行う短期避難所

2次避難所-定住先が見つかるまで生活が送れる場所。長期もOK。

グループホーム王喜の郷ライム 福島 咲

昭和レトロコンサート

テイチクレコード豪華・花のヒットパレード

懐かしの歌を皆さんで合唱しましょう！

「夜霧ブルース」「君忘れじのブルース」「月がとっても青いから」他

日時 五月二二日(シニアハウス王喜の郷) 一〇時〜十一時十五分

♪懐かしいあの時、あの時の思い出が鮮やかに

よみがえるコンサートをお楽しみください！

【会費】 無料

【お問い合わせ】 ☎二八二一一九四八(担当：山根)
※午前中に開催します。

～音楽と語り語るファンタジー～



たんぽぽ通信

5月1日発行 207号
ケアハウス王喜の郷 令和6年5月号

Webページ <http://www.ryokujuukai.jp>

皆さん、オーストラリアという国をご存じですか？私は昭和30年、40年代に教育を受け、その時に白豪主義という言葉を知りました。オーストラリアはアボリジニという住民たちを制圧し白人の国として国を作っていました。その一環として黄色人種の入国は制限されていました。自分が黄色人種であること、受け入れてもらえないことをこの時に学びました。その白豪主義は昭和48年まで続きました。後年縁があって、この国の上を何度も飛行機で飛びました。その広い大地は赤く、泥沼のような河が曲がりくねってどこまでも続いていました。その赤い大地を横切るのが長い間の私の夢でした。この4月に2泊3日でその国土を縦に走る列車に乗ることができ、夢がかないました。その列車には150人の乗客が乗り、列車は650メートルもありました。しみじみ感心したのは、乗客には高齢者が多かったことです。多くの方はご夫婦やお友達と来られていました。歩行器や、車いすの方もいらっしゃいました。私のように何年も楽しみにされていた方も多かったでしょう。3日の列車の旅も退屈することもなくあっという間のひと時でした。ありがとうございました。
施設長 末谷千秋

様(号)、様(号)入居されました。様、退去されました。

5月14日(火)13:30~15:30に、胸部レントゲン検診を行います。
対象:ケアハウス入居者の方
場所:ケアハウス玄関(レントゲン撮影車にて)
年に1回の結核の定期健康診断です。ご協力お願いいたします。



5月のお誕生日&行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1 八十八夜	2 誕生日	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日 立夏	6 振替休日	7	8	9	10	11
12 母の日 ケアハウス 誕生会	13	14 胸部X線検診	15	16	17	18
19	20 小満	21	22	23	24 ビューティーヘルパー	25
26	27	28	29	30	31	

*誕生日:お名前記載の方の誕生日です。

**ビューティーヘルパー:出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。

***イズミ行き:5月のゆめタウン行きは、都合により中止させていただきます。

****レトロコンサート:第4水曜日に隣のシニアハウスにて開催。午前10時~11時15分まで。参加費は無料です。

☆昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。
※参加の時には事務所に声をかけてから、行かれてください。

事業所だより

<p style="text-align: center;">ケアハウス王喜の郷</p> <p style="text-align: center;">ケアハウスの入居者様へ(お願い)</p> <p><居室の使用について></p> <p>・居室のトイレのタンクの上や中にはブルーレットなどの洗剤を置かないでください。故障の原因になります。液体のものも置かないでください。</p> <p>・居室に入ってすぐのビニールの床の部分には、ダスキンなどの油性のモップやクイックルワイパーなどは使用しないでください。床の黒ずみの原因となりますので、汚れは水ぶきでお願いします。</p> <p><外出届について></p> <p>外出届を出すのを忘れて、出かける方がいらっしゃいます。ケアハウスの前のセブンイレブンに行かれる時、病院に行かれるときなど、忘れずに外出届を書いてください。よろしく願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">介護職員 藤本 理恵</p>	<p style="text-align: center;">王喜の郷デイサービスセンター</p> <p>デイサービスでは、主に利用者の皆さんの健康管理と、平行棒を使用しての個別訓練の指導を行っています。</p> <p>平行棒を使用しての個別訓練を始めた頃は、参加の声掛けをしても拒否される利用者の方が多くおられ、参加されても嫌々体を動かされていましたが、個別訓練を継続して行われた結果、立位保持や歩行が安定する等の成果が表れ、現在は皆さん積極的に取り組まれています。</p> <p>これからも、利用者の皆さん一人一人に日常生活での悩みや希望をお聞きして、それぞれに見合った目標を立てて、皆さんに笑顔で楽しく機能訓練に参加して頂ける様にチーム全員で、取り組んで行きたいと思っております。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">看護職員 高野 早苗</p>	<p style="text-align: center;">グループホーム王喜の郷ライム</p> <p>風薫る五月。入居者の方は外気浴で爽やかな新緑を楽しめます。雨の日は外で「雨を感じることも必要」とのこと。細やかな風情です。普段寡黙な方が、外で「ここ(ライム)に来て本当に良かった」とポツリと言われたことがありました。ささやかなとても貴重な言葉に支えられ介護の仕事が私自身続いています。</p> <p>日々の仕事は職員毎日必死(汗)です。いかに「豊かな晩年」を過ごして頂けるかの支援の工夫に際限はありません。それでも、このお正月に百歳を迎えられた方がお元気に毎日体操等参加されるのを見るとあんな風に百歳を迎えられたらと勇気と希望を感じます。ご近所の方からライムのスタンドグラスがとても素敵だと言われました。ここに王喜の郷の名を冠したライムがあることに関心を 持って頂いて光栄でした。</p> <p style="text-align: right;">介護職員 和田育恵</p>	<p style="text-align: center;">グループホーム王喜の郷</p> <p>4月にデイサービスセンターからグループホームに異動して来ました吉中です。</p> <p>グループホームでは、入居者の皆さんに洗濯物を干したり畳んだり、食事の配膳などの家事仕事を職員と一緒に手伝いして頂いています。</p> <p>また、天気の良い日には、外気浴や散歩を行い、小鳥のさえずりや庭に咲いている花を見ながら歌を唄って楽しんでいます。</p> <p>今月は、近隣の個人宅の「バラ園」への外出レクを計画しています。私も初めての外出レクへの参加で、今から心待ちにしています。</p> <p>入居者の皆さんの好きな事や出来る事を見つけて、一緒に楽しみ、笑顔があふれる毎日を送って頂ける様精一杯努力して行きます。</p> <p style="text-align: right;">介護職員 吉中 多佳子</p>
<p style="text-align: center;">王喜の郷居宅介護支援センター</p> <p>4月よりケアマネジャーが3人体制になりました。</p> <p>3人共、会議の参加や委員会のリーダー等初めて行う業務が増え、また、今月は新規の相談も多く、一日があっという間に過ぎていきます。分からないことは、3人で相談したり調べたりしながら業務を行い、気づけば1ヶ月が経っていました。</p> <p>4月からの介護報酬の改定により、ケアプランの見直しが必要な方もおられます。ご家族やご利用者、サービス事業所と相談し、情報共有を図りながら、より良いサービスの提供ができるよう努めて参ります。介護保険のサービス料金の変更もありますので、訪問時、説明をさせていただきます。</p> <p>お困りごとや相談があればすぐに対応して行きたいと思っていますので、宜しくお願い致します。</p> <p style="text-align: right;">主任介護支援専門員 田邊美江</p>	<p style="text-align: center;">王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか</p> <p>ヘルパーは、利用者の方のご自宅へ訪問し、お一人おひとりと向き合って支援をさせていただいています。</p> <p>訪問開始時、ヘルパーが訪問することや、自宅に入ることすんなり受け入れて下さるか心配になることがありました。二回目の訪問で、「来てもらえて良かったです」と感謝の言葉をいただきました。開始時に比べて表情も明るくなられ、気持ちが向上されている様子を見て、ヘルパーのやりがいを感じる事ができました。</p> <p>「ヘルパーはやってくれる人ではなく、やりたい気持ちにさせてくれる人、やることを後押ししてくれる人、やることを見守ってくれる人、であるべきだ」という御意見を讀みました。</p> <p>今後も、利用者が住み慣れた自宅で日常生活が送れていけるように支援していきます。</p> <p style="text-align: right;">サービス提供責任者 藤成 舞</p>	<p style="text-align: center;">王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷</p> <p>シニアハウス入居者の方が通いサービスのミントで過ごす時間を楽しみにしておられます。日中お部屋で過ごすことが多かった方も、散歩・体操・ゲーム・クイズ・歌等、積極的に参加されています。少しずつでも毎日繰り返すことでリズムのある生活をして頂けるよう、職員もご支援させていただきます。</p> <p>4月初旬、桜の花が咲き始め、計画していた花見ドライブに全員が参加されました。</p> <p>久しぶりに外出された方が「あれは木屋川中学」と言われたのに驚いたり、道沿いに自宅がある方は感慨深い様子で喜ばれていました。</p> <p>花見や外気浴での草花の発見、風の暖かさで季節を感じながら、皆さん穏やかに過ごされています。</p> <p style="text-align: right;">介護職員 吉村 日出子</p>	<p style="text-align: center;">放課後等デイサービス さくら</p> <p>子ども達は新学年、新学期が始まりました。</p> <p>自分から「〇年生になったよ!」「高校生よ」と伝えに来てくれる様子が見られます。</p> <p>新しい環境にまだ慣れず、来所後は疲れて静かに過ごす子もいれば、変わらずに元気いっぱい、はしゃいで遊ぶ子もいます。</p> <p>先日は、いつもの散歩コースの天神山公園に桜を見に行きました。山すべりをしたり、どんぐりを拾ったりとたくさん自然と触れ合う事が出来ました。</p> <p>来年は皆で、お弁当を持ってお花見に行ければと考えています。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: right;">さくら 支援員 八木 真優</p>